

1. 「かしこく」：学習についての現状

- ・ **伝え合い**：「自分の考えをもち、伝え合うことができますか（問1）」については、80%以上の児童・職員・保護者が「とてもそう思う」または、「まあそう思う」と肯定的な回答をしている。しかし、「進んで発表しますか（問6）」では、約40%の児童が「あまりそう思わない」や「まったくそう思わない」の否定的な回答をしている。
- ・ **課題解決への姿勢**：「課題解決に向けて、進んで取り組んだり、粘り強く取り組んだりしていますか（問7）」や「課題を様々な方法で解決しようとしたり、他者との関わりの中で別の方法を見付けたりしようとしていますか（問8）」については、児童は、概ね肯定的な回答をしているが、職員・保護者ともに「あまりそう思わない」という回答が一定数存在する。
- ・ **家庭学習と読書**：「本をたくさん読んでいますか（問9）」及び「進んで家庭学習に取り組んでいますか（問10）」は、他の項目に比べて「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の回答が目立つ。両方の設問に対して、保護者の100名以上が「あまりそう思わない」と回答しており、学校外での学習習慣と読書習慣の定着が課題と言える。

2. 「なかよく」：規範意識と人間関係

全体として高い評価となっており、学校生活における人間関係は良好である。

- ・ **規範意識**：「学校のきまりを守ろうとしていますか（問11）」では、児童・保護者は「とてもそう思う」「まあそう思う」が大半を占めているが、職員は、否定的な回答が目立つ。
- ・ **思いやりと相談**：「友達を思いやる言葉を使って話していますか（問13）」や、友達とのトラブルや困ったことなどについて、おうちの人や先生、友達などに相談しながら、解決しようとしていますか（問12）」についても肯定的な回答が多い。しかし、問12については、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」と回答する児童が60名ほどいる。この実態を念頭に置いて児童の様子を見守る必要がある。
- ・ **挨拶**：「元気のよい挨拶ができていますか（問14）」については、児童の自己評価に比べ、職員の「あまりそう思わない（4）」と保護者の「あまりそう思わない（71名）」という回答がやや多く、校内外での挨拶の実践にはまだ伸びしろがあると考えられる。

3. 「たくましく」：目標達成への意欲と生活習慣

- ・ **目標への取り組み**：「粘り強く最後までチャレンジすることができますか（問3）」や「めあてや目標達成に向けて、授業や活動、行事に取り組んでいますか（問15）」については、児童の自己評価が高く、意欲的に取り組んでいる様子が伺える。しかし、問3について、保護者の30%ほどが否定的な回答をしており、分析を進める必要がある。
- ・ **生活習慣**：「早寝、早起き、朝ごはん（問16）」については、特に保護者から「とてもそう思う」という回答が多く（143名）家庭での協力体制が強固であることが分かる。